

傷病手当金のご案内

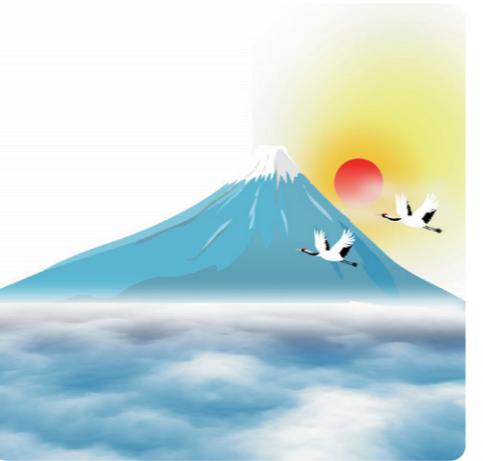
医療連携・患者支援センター 神場 謙



突然の病気や怪我によって仕事を休まなければなりません、これから的生活に不安を抱く方もいらっしゃると思います。傷病手当金とは休業中の被保険者やその家族の生活を保障する制度になり、十分な報酬を得られない場合、一定の要件を満たすことで支給を受けられる制度です。協会けんぽ・保険組合に加入している被保険者が制度の対象となり、業務外の病気や怪我を理由に仕事を休まなければならなくなることが支給要件の1つとなります（業務内の事故等は労災保険の対象になります）。給付期間は最長で1年6ヶ月間となり、支給額は働いていた期間や報酬によってそれぞれ異なります。

申請窓口は所属する健康保険協会・保険組合となります。先ほど述べました支給要件以外にもさまざまな支給要件が設けられており、自分が傷病手当金制度に該当するかは申請窓口へご相談ください。申請には申請書や医師が記載する診断書が必要となります。また、傷病手当金制度は国民健康保険に加入されている方や任意継続保険加入中の方は制度の対象外となります。

書類の記載や申請方法等でご不明な点やお知りになりたいことがございましたら、当院の医療連携・患者支援センターにご相談ください。



外来受診のご案内

- 開院時間 8:10
- 受付時間 初診 8:30~11:00 再診 8:30~11:00
※一部診療科では午後の受付となる場合があります
- 休診日 日曜日・祝日・第3土曜／創立記念日（6月10日）
年末年始（12月29日～1月3日）
- 代表電話番号 043-462-8811
予約変更専用 043-462-0489（平日14時～16時）
- 健康保険証（原本）、その他の公費負担受給者証（原本）を必ず持参下さい。
- 各科外来担当医はホームページ
<http://www.sakura.med.toho-u.ac.jp> をご覧ください。

お見舞いについて

【面会時間】

平 日	15:00~19:00
土・日・祝日 創立記念日 年末年始	11:00~19:00 (2階西病棟13:00~19:00)

防災センターで面会手続きの上、お見舞いカードを装着してお入り下さい。

時間内の面会が無理な場合は看護師にご相談下さい。
状況に応じ時間外面会許可証を発行いたします。

編集後記

新たな年を迎え、まだ厳しい寒さが続いているますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

毎年、私の実家では、神様にお供えする鏡餅とお雑煮用のお餅は、杵と臼を使って餅つきを行います。昔からお餅は、“ハレの日”（特別な日、お祭りの日）の食べ物とされていたようです。つきたてのお餅は、とても美味しい、一味も二味も違ひ“ハレの日”に相応しいことが理解できます。きな粉餅やあんこ餅…、ついつい食べ過ぎてしまいます。皆様はどのようにしてお餅を召し上がるのが好きですか。



（総務課 福田）



編集・発行：東邦大学医療センター佐倉病院 広報委員会
〒285-8741 佐倉市下志津564-1 TEL.043-462-8811(代表)
発行月：2017年1月【年4回（1・4・7・10月）発行】
URL：<http://www.sakura.med.toho-u.ac.jp>

SAKURAdayori



東邦大学医療センター 佐倉病院の基本理念

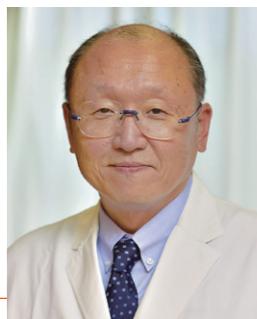
- 質の高い医療を安全に提供する病院
- 地域に貢献する病院
- 人間愛を共有する病院
- 楽しく明るくチャレンジする病院
- 良き医療人を育成する病院

患者の権利

- 質の高い公正な医療が受けられます
- 個人の尊厳が守られます
- 個人のプライバシーが保障されます
- 必要な医療情報の説明が受けられます
- セカンドオピニオンが保障されています
- 医療行為について自己選択ができます

年頭のご挨拶

病院長 長尾 建樹



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。教職員一同、「患者さんのために」という基本姿勢を貫き、常に地道に、そして確実に医療に取り組んで参りたいと存じますので本年も何卒よろしくお願いいたします。また、日本各地に甚大な被害を及ぼした自然災害による被災者の方々には衷心よりお見舞い申し上げます。

当院ではこのような災害時に地域の中核となって対処できるように整備を進め、昨年4月に地域災害拠点病院としての指定を受けることができました。今後も災害現場へ緊急出動できる医療チーム(DMAT)の拡充や後方支援医療機関として設備面での整備を継続してまいります。

診療の質を高めるため、昨年から不整脈治療の専門家を招き、循環器内科診療の拡充に努め、また、腎臓内科を開設し腎疾患に対する専門的治療を開始しています。さらに、産業精神保健・職場復帰支援センター（デイケア）にも専門家を招聘しメンタルヘルスクリニックの診療充実を図ってまいりました。

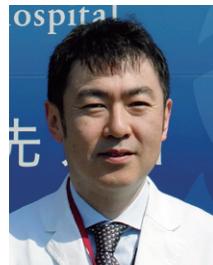
佐倉病院のフィールドは地域であることをいつも念頭に診療連携に力を注ぎ、昨年、印旛保健医療圏では2番

目、千葉県では15番目の地域医療支援病院の指定を受けることができました。当院では佐倉市を含む9市町からなる印旛保健医療圏の中核となる地域医療支援病院として、患者さんが最善の医療を最適な場所で適切な時期に受けることができるよう連携を強化して地域で完結できる医療体制づくりに努めて参ります。医療連携・患者支援センターでは、広く当院に対するご要望、ご叱責に対して迅速に対応できる体制を整えておりますので、コンシェルジュ等の窓口を通して遠慮なくご意見等をお聞かせください。

がん診療においては、千葉県がん診療連携協力病院として緩和ケア連携部署の増員や化学療法室の拡充を行い、放射線治療部門の稼働も順調に推移しており、総合的ながん診療体制を継続的かつ安定して提供しております。

患者さんに「かかって本当によかった」と思っていただける病院、「働いて本当によかった」と思える病院を目指して各部署が協力して、教職員一丸となって常に努力を惜します今年も邁進を続けます。皆様方に更なるご支援・ご理解をお願い申し上げる次第です。最後になりましたが、この新しい年が皆様によりまして良い年になるよう祈念致しまして新年の挨拶とさせていただきます。

『公開講座』～循環器疾患を知って健康に生きる～



清水一寛 助教

2016年10月22日に、『循環器疾患を知って健康に生きる』という趣旨で、公開講座を担当させていただきました。第一演題の『自然災害と循環器疾患』ですが、東日本大震災では、全ての循環器疾患が増加したということが後日東北地方の調査で判明しました。2011年3月11日、被災地から300kmも離れた佐倉地区でも心血管病が増え、血管が硬くなる現象を捉えましたので、我々は緊急でCAVIという生理機能検査装置を用い、血管の固さの調査を続けました。血管の固さが震災直後に硬くなり、その後戻るという現象を見出し、心血管病増加の原因の一つとして、結果を世界に発信いたしました。事実、佐倉市の死亡者数は例年寒い冬の時期が多く、春になると減るのですが、2011年だけは春になっても減りませんでした。強いストレスを感じた時、注意すべきことは、普段より塩分を控めめにする、血圧が高い人は薬を飲む、6時間以上しっかり眠る、少し体を動かすということで、いわゆる体に良いことを心がける必要があります。そのことで血管の硬化を予防できます。2016年には熊本地震、鳥取の地震がありました。日本のどこに住んでいても、大地震に遭遇する可能性があります。そんな時、気

循環器内科 清水一寛



会場の様子

をつけるポイントを知っていれば、助かる可能性が高くなります。第二演題の、『循環器疾患と生理機能検査部との関わり』では、様々な生理機能検査に関して概説がありました。心臓や血管の機能、睡眠評価など痛くない検査を通して生理機能検査部は、佐倉病院の循環器診療を支えてくれています。最後に野呂教授から『あなたの身近にもある不整脈』という講演をいただきました。心臓突然死の多くが不整脈になります。町でよくみかけるようになったAEDはそのためになります。また、命に影響はなくとも、動悸で日常生活が安心快適に送れなくなることがあります。医学の進歩でそういった問題をかなり解決できるようになってきました。当院も野呂先生の赴任後は不整脈治療を開始しましたので、お困りの際は外来でご相談いただければと存じます。地域の健康を守る病院として、これからも市民の皆様と共に歩んでいきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

働く人のメンタルヘルス・独創的なりワーク支援



小山文彦 臨床教授

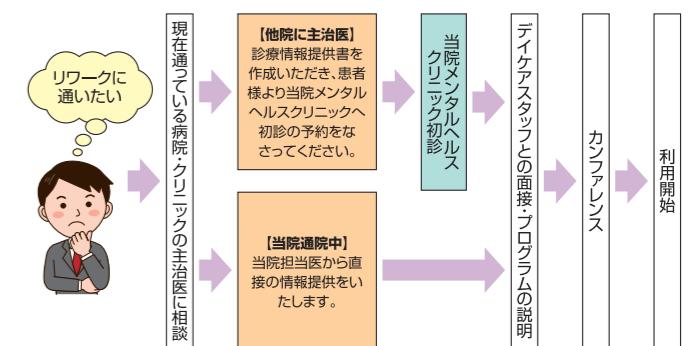
2016年10月より産業精神保健職場復帰支援センターに着任しました。これまで、全国の労災病院を運営する労働者健康安全機構に在籍し、職場のメンタルヘルスに関する研究や治療と仕事の両立支援等に取り組んできました。これらと関連して、東邦大学佐倉病院では、大学医療機関としては全国に先駆け、他に類を見ない、うつ病患者さんへのリ・ワークプログラムが導入されています。これは、2007年10月に開設され、医師・看護師・ソーシャルワーカー・心理職・作業療法士などの多職種チームによる復職支援を開始し、現在までに、地域におけるリ・ワークの中核的役割を担っています。そして、職場のメンタルヘルスの分野において「全国区」の存在でもあります。先日(2016年11月25~26日)、東京都内で日本産業ストレス学会を主催し、全国から900名以上の方にご参加いただきましたが、その場におきましても当院・当センターからの発表は注目され、多くの方からご支持をいただきました。

そして、現在、国がかかげる「働き方改革」の三本柱のうちの一つとなった「治療と仕事の両立支援」とは、政策や研究だけでは成り立たず、例えば、当センター等が実践している

産業精神保健 職場復帰支援センター長 小山文彦

リ・ワーク支援が中核となると考えています。医療現場では「患者さん」と呼ばれる存在は、生活場面や職場ではそれぞれ「家族」「職員」等といった存在でもあり、その現状を評価する際には家庭や職場での状況をも我々医療者は知るべきでしょう。そして、一人で何役もこなしている存在へのねぎらいの大切さは言うまでもありません。また、うつ病等に罹患した労働者の就労が可能かどうかなどの判断のために考案された評価法が確立され、その結果が職場復帰にかかる意見書等に適用できれば、医療と職場との連携は、より促進されると考えられます。それでは、皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

リワーク(ディケア)利用開始までの流れ



2017年 公開講座のお知らせ (入場無料・申込不要・200席)

開催予定日	講演予定テーマ	担当
1月28日（土）	～あなたと家族を守る看護の視点～ 「災害を乗り越えるために今できることを認定看護師と考える Part 1」	〈看護部〉 救急看護・集中ケア・糖尿病看護 認定看護師
2月25日（土）	「うつ病と社会復帰」 ～うつとつきあう、乗り越える～	〈メンタルヘルスクリニック・産業精神保健 職場復帰支援センター・他〉 桂川修一・小山文彦・他
3月11日（土）	「家庭でも実践できる感染対策」	〈感染対策室〉長島誠・他
3月25日（土）	〈地域で考えるケアと治療〉 「歩行障害／パーキンソン病」	〈神経内科・薬剤部・脳神経外科・リハビリテーション部・ソーシャルワーカー・看護部〉
5月27日（土）	～あなたと家族を守る看護の視点～ 「災害を乗り越えるために今できることを認定看護師と考える Part 2」	〈看護部〉 感染管理・新生児集中ケア・摂食嚥下障害認定看護師

ご参加お待ち致しております

ほぼ毎月、身近な疾患や症状をテーマにした公開講座を企画しております。多くの市民・医療関係者の皆様にご参加いただき、病気の予防や早期発見、地域医療の発展に役立てていただければと考えております。

いずれの講座も14時から当院東棟7階・講堂で開催いたします。詳細は、テーマごとに院内掲示およびホームページなどでご案内いたします。お問い合わせや講演テーマのご要望がございましたら、総務課にご連絡下さい。

♪病院職員によるミニコンサート開催のお知らせ♪

2017年2月4日(土)15時より正面ロビーにて

演奏：トランペット、弦楽アンサンブル、ハンドベル等クラシックから唱歌、童謡まで幅広く演奏します。



患者さんにベストな抗菌薬を正しく使うために

抗菌化学療法認定薬剤師 杉尾和昭

の投与量を計算することで、正しい抗菌薬の選択と投与方法を医師や仲間の薬剤師に提案しています。抗菌薬投与後は、治療効果や副作用なども確認します。また、抗菌薬の血中濃度測定、解析を行い、的確な抗菌薬の投与量や投与方法などを医師に助言しています。このように、抗菌薬の適正使用において、薬剤師はチーム医療の一員として大切な役割を担っています。現在では、医師の回診に看護師と共に参加したり、ベッドサイドで直接医師と協議しながら患者さんにベストな抗菌薬を提案しています。これからも『患者さん個々の感染症に応じてどの抗菌薬を選択し、どう使うべきか』という場面では、有効で安全な抗菌薬治療を提供していきたいと思います。

